# 水位計 ATM-N型 (圧力式水位センサ) 仕様書

ジオテクサービス株式会社 2013/04/30

# ■特徴



水位計の外観

水圧を測定し、水位に比例した電気信号(電圧又は電流)が得られる圧力式の水位計です。

最大外形 24mm で、 40mm クラスの小口径の観測井戸 にも挿入可能です。

ケーブル内に大気圧開放チューブが入っており、気圧変動の影響(±20cm 程度)を受けません。水中に投げ込めば、水位に比例した信号が得られ設置が容易です。



水位計(ケーブル 20m)とデータロガー

## ■主な仕様

項目	仕 様
型式	ATM/N 型水位計発信器
製造元	STS 社(STS Sensor Technik Sirnach AG 社)
センサ形式	半導体ピエゾ抵抗式ダイアフラム構造投込式水位計
測定範囲	1,2,3,5,10,15, <b>20(標準)</b> ,30,50,70,100,150,200mH20(製作時に指定)
電源	9-33VDC
出力	<b>0~5V(標準)</b> , 1~5V, 0~20mA(長距離伝送や耐雷対策時)
総合精度	最大誤差±0.1%FS 以内(非直線性+ヒステリシス+再現性、20m 計で±20mm 相当)
ゼロ点温度ドリフト	±0.03%FS/℃以内
スパン温度ドリフト	±0.015%FS/℃以内
保証耐圧	フルスケールの 3 倍 (破壊圧力は約 200mH20 以上)
使用温度範囲	-5℃~+50 (先端感部が凍結しないこと)
保存温度範囲	-25°C∼+85
寸法・重量	直径 <b>24</b> mm×長さ約 <b>108</b> mm、約 <b>250g</b> (ケーブル含まず)
材質	水位計本体: SUS316 ケーブル:ポリウレタン
ケーブル仕様	大気圧開放チューブ入り3心ケーブル、外径 6mm
ケーブル長	<b>23m(標準)</b> , 1~200mまで製作時に指定可能
ケーブル色	白(電源+),黄色(電源-),茶色(出力+),銀(シールド、水位計の筐体に未接続)

## 参考

ケーブルは  $1\sim200$ m の範囲で製作可能です。※別途、ATM. ECO/N型 (精度 0.25%FS)、やチタン製もあります。簡易防食コーティングも可能。



## 水位計の設置方法 (参考資料)

地下水位計の場合はボーリング孔内に、塩ビの有孔管を立て込み、その中に吊り下げる形で設置する。 設置位置及び、測定範囲は、以下の条件を考慮して決定する。

- ①予想される最低水位より下に設置する。
- ②孔内の土砂の埋没も考慮して、孔底より上に設置する。(1m以上の砂溜まりが望ましい)
- ③水圧の測定範囲は、予想される最高水位に対し、2割以上の余裕を持つことが望ましい。
- ④地上のケーブル長は、メンテナンス等を考慮して、3m以上の余長を持つことが望ましい。

#### 【注意】

地下水の水圧を測定する場合、気圧の変動による誤差を打ち消すため、防水型の大気圧開放ボックス(避雷器内臓)を設置する。

②地上の配線が長くなる場合(30~300m)は、地上部に避雷器を設置しアース棒も設置する。 水位観測孔のすぐ近くに計測器がある場合は、大気圧開放ボックスを用いず水位計のケーブルを 直接、計測箱の中に引き込み、大気圧開放チューブの先に乾燥剤を取り付ける。

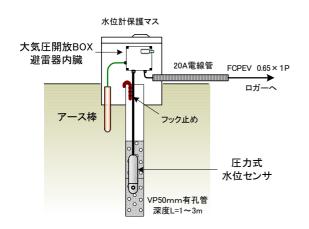


図-1 地下水位計の設置方法



図-2 地上ケーブルを延長する場合の 大気圧開放ボックス-避雷器付



図-3 水位計の挿入状況



図-4 水位計設置マスと電線管の外観

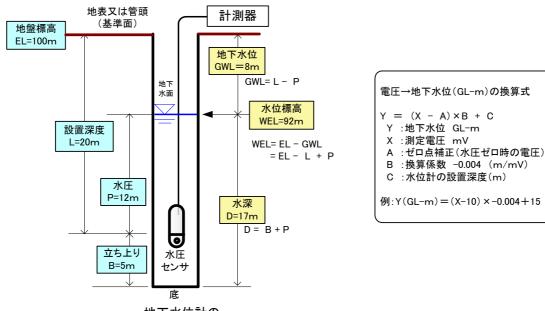
#### 測定値の換算方法

換算係数 B は水位計の測定範囲と、出力電圧によって異なります。

下記は、20m計0~5V出力型の例です。

※換算係数 B=測定範囲 20m÷(最大出力 5000mV-ゼロ点電圧 0mV)=0.004

## (1) 地下水位計の場合



地下水位計の水圧と水深、地下水位、水位標高の関係

### (2) 河川水位計の場合

